

大西一史

熊本の未来を創る政策集

Manifesto 2014

目 次

I. 大西一史が目指すもの

II. 分野別の取り組み

1. 暮らしに安心と潤いを

2. 地域に優しさと触れ合いを

3. 「チーム熊本」で活力と勢いを

III. この政策を実現するために

IV. 桜町再開発事業についての考え方

I. 大西一史が目指すもの

戦後69年が経ち、日本国は人間でいえば来年は古希を迎えます。しかし、国内外の情勢は政治的にも経済的にも厳しさを増すばかりで、社会は閉塞感に満ち満ちており、熊本市もその例外ではありません。

このような中、熊本市は政令指定都市になって3年目となり、第2ステージへ入ろうとしています。

そこに、突然の現市長の不出馬表明。私は正直迷いました。現市政の何を継承し発展させるのか。何を否定し何を構築しなければならないのか。そして、それは誰がなすべきか。

私はここで結論めいたものに出会いました。これを実行するのは市民そのものではないのか。私は問題を的確に捉え、整理し、方向性を与える、そして先頭に立つのがリーダーたる者の姿ではないのか。それには先ず市民の話を広く聞いてみよう。「市民が私のシンクタンク」なのだ。

そこで私は「政策立案会議」を各地で開催し、52日間、30回、延べ千数百人の熊本市民の皆さんの話を聞き、かつ議論しました。10月10日、最後の「政策立案会議」を終えて胸に去来したものは、「熊本市は広く、多種多様な生活がある」ということ、そして「市民こそ私のシンクタンク」という実感でした。

私は「市民の先頭に立って市民の要求、提案を実現させる」こと、そのためには「市役所の徹底的な意識改革と機能強化」を実行し、「地域主義を徹底的に実践し、国の構造を抜本的に変えて市民の豊かさを実現させたい」とあらためて決心しました。

その上で「政策立案会議」の総括と17年間にわたる県議会議員としての経験が私に提示してくれたものは、次の3つの命題でした。

i. 地域主義（理念）

地域の役割の再発見と地域コミュニティの再構築。

ii. 地域発の成長戦略（ビジョン）

画一的でなく地域の個性や特性に応じた景気対策による地域活性化と地方創生。

iii. 公平公正と相互信頼（スタンス）

全ての政策の実施にあたっては、行政は公平公正を旨とし、市民との間の相互信頼の構築。

この3つの命題のもと、130項目にわたる「分野別の取り組み」をまず市民の皆さんにお示しし、私の「マニフェスト」、「市政運営の基準」とします。

Ⅱ. 分野別の取り組み

1. 暮らしに安心とうるおいを

(1) 子育て支援・教育の充実

①子育て家庭に対する支援の充実

- 1 現在の医療費助成を段階的に中学3年生まで充実します。【任期中実現】
- 2 子育て支援センターへの補助を充実します。【任期中実現】
- 3 「子育て支援ステーション」を設置し、ショートステイ事業、訪問型保育事業、保育ボランティアへの研修事業などを行います。【任期中実現】
- 4 校庭開放を推進するとともに、公園の禁止事項を見直して、子供の自由な遊び場を確保することを目指します。【任期中着手】

②地域の実情に応じた保育サービスの充実

- 5 認可保育所の定員増、小規模保育など多様な保育の充実により、実質的な「待機児童ゼロ」を実現します。【任期中実現】
- 6 病児・病後児保育の拡充、保育所・学童クラブの時間延長、障がい児保育など、切実なニーズに対応した保育サービスを充実します。【任期中実現】
- 7 「小高連携（小学校と高齢者の連携）」を推進し、学童保育の終了後も小学校6年生まで子供を預かれる地域の体制をつくります。【任期中着手】
- 8 今後さらにニーズが増える保育士の養成・人材確保を支援します。【任期中着手】

③小中学校及び市立高校・専門学校の教育環境の向上

- 9 基礎学力の向上を図るため、放課後、土曜日、夏休みなどを利用した補習授業を充実します。例えば、民間の塾などと連携し、習熟度の低い児童・生徒を対象にした学力強化塾を開催します。【任期中実現】
- 10 子供たちが学習に集中できるような環境整備を推進します。そのため、全校全教室にエアコンを設置します。【任期中実現】
- 11 保護者からの相談に対応する「教育コンシェルジュ（仮称）」を各区に配置し、家庭へのきめ細かな相談体制と教員が子供と向き合う時間を十分確保できることを両立します。【任期中実現】
- 12 専門家とも連携して、特別支援教育、いじめ、不登校、引きこもり対策を強化します。【任期中実現】
- 13 英語教育やICT教育など、時代の変化に柔軟に対応した教育内容の充実を図ります。【任期中実現】
- 14 給食費のクレジットカード払い導入など、学校事務の合理化を推進します。【任期中実現】

- 15 市立必由館高校・千原台高校・総合ビジネス専門学校等の教育環境を充実し、高等教育機関への進学率の向上や地場企業への人材供給の高度化を図ります。【任期中実現】
- 16 地域と学校の連携を強化するため、コミュニティースクール（地域住民が学校運営に参加する制度）などの方策を検討します。【任期中着手】
- 17 子供たちが最適な環境で学習できるよう、校区の見直し・柔軟化など、大規模校や小規模校の教育環境のあり方について検討します。【任期中着手】

（２）健康福祉の充実

①医療介護体制の充実

- 18 「医療先進都市くまもと」の中核施設である熊本市市民病院について、熊本市内のみならず、県全体の医療体制の向上に貢献するようにします。【任期中実現】
- 19 がん検診を完全無料化し、受診率を向上します。また、健康診断に超音波検査（腹部）を導入します。こうした早期発見・早期治療の推進によって、医療費の削減を目指します。【任期中実現】
- 20 婦人科健診の普及、子宮頸がんの〇期での発見・治療など、女性のヘルスケアを充実します。【任期中実現】
- 21 エボラウィルスをはじめとしたあらゆる感染症には、政府や他の自治体、医療機関との連携強化による情報収集や、訓練を実施するなど、感染を拡大させず適切な初動体制が取れるよう対策を強化します。【任期中実現】
- 22 要介護認定の迅速化、介護人材の不足に対応した育成・確保の支援など、介護サービスの向上に取り組みます。【任期中着手】

②障がい者福祉の向上

- 23 障害者差別解消法や「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」を踏まえ、「熊本市障がい者プラン」を見直します。その際には、当事者との情報交換を密にして、本当のニーズを共に探る姿勢を重視します。【任期中実現】
- 24 障がい者の就職・就業支援体制を強化します。【任期中着手】
- 25 特別支援学校・特別支援教室の整備、重度の発達障がい児への対応の充実、自閉症・発達障害への理解促進など、障がい児の総合的な支援体制を充実します。【任期中着手】

③公平かつ必要な人に行き渡る社会福祉の実現

- 26 生活保護制度の公平かつ適正な運用を進めます。【任期中実現】
- 27 ひとり親家庭（母子家庭・父子家庭）の支援を充実します。【任期中実現】

(3) 高齢福祉の充実（エイジフレンドリーな社会。「おひとりさま」から「おたがいさま」へ。）

- 28 老老介護、独居高齢者、認知症高齢者、障がいを持つ高齢者などを「おたがいさま」（いつかは私も…）の精神で支えます。そのため、地域の絆を活かした支援や、民間と提携した見守りサービスなど、行政の枠にこだわらない支援策を講じます。【任期中実現】
- 29 誰でも見やすいように、保険証に記載する名前や番号を大きくします。【任期中実現】
- 30 まちの至る所のバリアフリー化を推進します（エレベーター、スロープ、手すり、誘導ブロックの設置など）。【任期中着手】
- 31 老人ホームの建て替えに際しては、プライバシーが守られる1人1部屋化を推進します。【任期中着手】

(4) 「いのち」を大切にす政治

- 32 未成年者の人工妊娠中絶実施率が全国ワースト2位である熊本の現状を踏まえ、性教育・命を守る教育を充実します。【任期中実現】
- 33 「こうのとりのゆりかご」は熊本だけで抱えるべき問題ではありません。全国的な相談体制の強化なども含め法整備を進めるよう、国に働きかけます。【任期中実現】
- 34 児童虐待は、してはいけない。させてはいけない。見逃してはいけない。この世にあってはならないものです。児童虐待を完全に撲滅することが私たちの使命です。児童相談所の機能強化と、学校、病院、警察、など、関係機関の連携を進めます。【任期中実現】
- 35 熊本市動物愛護センターは、犬や猫の殺処分ゼロを目指した取組を進めています。この誇るべき取組をさらに進めるとともに、全国に普及啓発します。【任期中実現】

2. 地域に優しさと触れ合いを

(1) 安全・安心な地域環境の整備

①公園未整備地域の解消

36 防災拠点機能、地域活動の拠点機能、子供やお年寄りのいこいの場、という視点を重視して、公園の整備を推進します。そのため、「公園整備の手引き」を改訂して、公園の設置基準を柔軟化し、公園未整備地域の解消を図ります。【任期中着手】

②身近な防犯防災対策の強化

37 子供や女性が巻き込まれる事件を防止するため、街灯・防犯灯の整備、小中学校などへの防犯カメラの設置を推進します。【任期中実現】

38 警察と連携して、校区や行政区を超えた防犯体制・情報提供体制を強化します。【任期中実現】

39 防犯・防災などの面で危険を生む可能性のある「空き家」対策を強化するため、行政の権限で撤去を可能にする条例改正を含めた検討を行います。【任期中実現】

40 通学路の街路樹や学校内の樹木など、倒木のおそれがある危険木を樹木医によってチェックし、危険が明らかになった場合には撤去します。【任期中実現】

③地域ぐるみ・家族ぐるみの安全対策

41 豪雨災害、高潮、地震などの災害に備えるため、市民一人一人が災害時の行動を体感できるよう、職場・家庭での避難訓練の実施を推進します。【任期中実現】

42 住民との共同作業で、校区単位でのハザードマップの整備、避難場所への案内板や地図の整備などの取組を推進します。【任期中実現】

43 小中学校でハザードマップを地域学習に採り入れます。これにより、子供の視点での危険箇所の把握や、家族ぐるみの情報共有を図ります。【任期中実現】

44 きめ細かな安全対策を充実するため、地域の防犯・防災活動団体への支援を強化します。【任期中実現】

④情報提供体制や避難体制の強化

45 市ホームページのハザードマップをわかりやすく改善します。特に、洪水ハザードマップが国管理区間と県管理区間で別々になっているので、統合します。また、校区や行政区を超えて、最も安全かつ迅速に避難できる避難ルートを設定します【任期中実現】

46 災害情報の発信は、「熊本市災害情報メール」に個別に登録してもらうのではなく、例えば「エリアメール」などのサービスを利用して、全ての携帯電話やスマートフォンに配信します。【任期中実現】

47 洪水・高潮などの際に屋上に避難できる「屋上避難ビル」を指定し、わかりやすく表示します。【任期中実現】

- 48 避難場所自体が安全かどうか、再点検します。問題があった場合には、耐震化や新たな避難場所の選定などを最優先で行います。【任期中実現】
- 49 県と連携して防災士養成事業を実施し、94校区に「登録防災士」を養成することで、日常の防災活動や緊急時の避難所運営などの体制を強化します。【任期中着手】

⑤交通安全対策の充実

- 50 地域との協力によって通学路の一斉点検を行い、危険箇所を解消します。また、スクールゾーンの指定を拡大します。【任期中実現】
- 51 地域の交通安全協会と連携して、子供・高齢者の交通安全教育を強化します。【任期中実現】
- 52 自転車の通行マナーの向上、自転車通行路の整備などにより、自転車が関係する交通事故を減らします。【任期中実現】
- 53 交通危険箇所に関する市民からの情報提供を積極的に奨励します。危険が明らかになった箇所については、県や警察とも連携して、信号の設置、歩道の整備など、安全対策を講じます。【任期中着手】

(2) 地域の文化活動の支援

- 54 地元の祭りや伝統行事、地域住民による文化財保護活動を支援します。【任期中実現】
- 55 地域の憩いの広場や子供が遊べる公園を充実し、管理も地域で実施できるようにします。【任期中着手】
- 56 公設公民館（市内19箇所）を「まちづくり支援センター」に衣替えし、まちづくり支援の拠点として活用します。【任期中着手】

3. 「チーム熊本」で活力と勢いを

(1) 経済の活性化

①雇用、就職・就業を支援し、熊本に住み、熊本で働ける環境を整備

- 57 雇用創出を通じた就職・就業支援策を推進します。そのため、熊本の土地・家賃・物価の安さ、地理的な優位性などをPRするとともに、企業の移転費用を補助するなど企業誘致策を講じます。【任期中実現】
- 58 雇用の創出と熊本への定住促進のため、老若男女による起業を支援するとともに、Uターン・Iターン者への住宅ローン優遇や固定資産税減免などの具体策を検討します。【任期中実現】
- 59 商店街の現状について調査分析を行い、ニーズに応じた実効性のある活性化施策につなげます。【任期中実現】
- 60 福岡からの本支店機能の移転など、ターゲットを絞ったトップセールスによって、攻めの姿勢で企業を誘致します。また、新熊本地方合同庁舎の敷地等を活用して新たな政府機関の誘致に取り組みます。【任期中着手】

②くまもと農業の復活と、各区の特色を活かした発展

- 61 安定的持続的に良質な農産物を提供するため、担当職員の資質向上、国・県・市の連携などによって、市の支援体制を強化します。【任期中実現】
- 62 くまもと農業の現在の課題を分析した上で、将来のビジョンを作成します。【任期中実現】
- 63 市内にまだない「道の駅」を開設して、産直品の販路を拡大します。【任期中実現】
- 64 国や県とも協力して、飼料費や燃料費の高騰対策を講じます。【任期中実現】
- 65 農業後継者・新規就農者への継続的な支援、女性の農業進出への支援など、担い手の育成を推進します。【任期中着手】
- 66 農地の質を向上するため、農業基盤整備を促進します。【任期中着手】
- 67 集落内開発制度の柔軟な運用などにより、都市部と農村部の特色を活かした発展を図ります。【任期中着手】

(2) 交通・インフラの整備

①道路交通を徹底的に見直し、全国有数の渋滞都市という汚名を返上

- 68 「熊本都市圏都市交通アクションプログラム」を改訂し、国道57号東バイパスの部分立体化、国道3号植木バイパスの早期開通、主要交差点の改良などの渋滞解消策の位置づけを強化します。またスマートインターチェンジの早期実現を目指します。【任期中実現】
- 69 JR熊本駅前広場のバスターミナル機能を強化し、中心部への一極集中を緩和します。【任期中実現】

- 70 バス路線のフィーダー化、中心部へのマイカー乗り入れ規制、パークアンドライド・サイクルアンドライドの導入など、交通量そのものを減らす抜本対策を検討します。
【任期中着手】

②公共交通条例の理念を基に交通網を再編し、公共交通の利便性を向上

- 71 バスのダイヤを見直し、利便性の向上を図ります。また、行き先表示をわかりやすくするとともに、現在位置を各バス停やスマートフォンで確認できる「バスロケーションシステム」を導入します。【任期中実現】
- 72 デマンドバス・デマンドタクシーを積極的に活用し、きめ細かな外出ニーズに応えます。【任期中実現】
- 73 熊本駅、上熊本駅、新交通センターのターミナルとしての機能を強化します。特に、熊本駅については、JRとのコラボレーションにより、機能的で開放的な駅前広場を整備します。【任期中着手】
- 74 バス停に屋根やベンチを設置し、バスを快適に待てる環境を整備します。【任期中着手】
- 75 市電の延伸（田崎橋から先の西部方面、南熊本駅への延伸、健軍からグランメッセ經由熊本空港への延伸）、LRT化の検討など、さらなる利便性の向上策を検討します。【任期中着手】

③まちの美しさや住みやすさを向上するインフラ整備

- 76 老朽化した公共施設の更新に備えて、部局毎ではなく一元的なファシリティ・マネジメント（施設管理）を推進し、財政支出の効率化・平準化を実現します。【任期中実現】
- 77 改正品確法（公共工事の品質確保の促進に関する法律）に規定された発注者責務の実施、地場建設産業の育成に取り組むとともに、建設産業の育成・振興に向けた専門部局の設置を検討します。【任期中実現】
- 78 電線の地中化を促進し、美しい街並みと災害時の安全性を両立させます。【任期中着手】

④市民との協働によるインフラの改善

- 79 スマートフォンのアプリを活用して、地域住民からの情報提供を受け付け、インフラの保守管理や危険箇所の改善に役立てるシステムを導入します。【任期中実現】
- 80 市民にも観光客にもわかりやすい案内標識を整備します。【任期中実現】
- 81 官民のコラボレーションによって、県から移管された道路の管理を徹底します。清掃が追い付かず雑草が生えている、などの状況を改善します。【任期中実現】
- 82 地域住民のニーズを踏まえて、新幹線・在来線の高架下の積極的な活用を図ります。【任期中着手】

（3）歴史・文化の継承発展と観光の振興

①熊本城と市街地の一体感を高め、城下町の文化が息づく街を再生

- 83 熊本城と市街地の動線を多様化し、観光バス、徒歩、公共交通機関など、多様なルー

トでアクセスする観光客の利便性と回遊性を高めます。【任期中実現】

- 84 熊本城の整備については、合同庁舎の跡地利用などを含め、城内の交通処理を検討します。【任期中実現】
- 85 藤崎台県営野球場の移転を含めたあり方を検討するため、県・市連携で検討会議を設置します。【任期中実現】
- 86 熊本城内の整備に加えて、城下町としての街並み再生、史跡の復元や案内板の設置などを進めます。【任期中着手】

②「水の都」としてのストーリー性を持った水辺の整備

- 87 「水の都」のシンボルとして、江津湖花火大会を復活するため、関係機関・関係団体との協議の場を設置します。また、熊本城での同時開催も検討します。【任期中実現】
- 88 水前寺成趣園の観光客増加のため、関係団体との協議を進めます。また、市電・バスからの江津湖・動植物園へのアクセスをわかりやすくします。【任期中実現】
- 89 河川協力団体制度を活用して、河原・遊水地の清掃や除草などの管理を地域で行えるようにします。これによって、河川敷を市民農園や花畑に転換することもできるようになります。【任期中実現】
- 90 水前寺成趣園・江津湖周辺を一体的に整備し、観光客の増加と市民の憩いの場の創出を図ります。その象徴となるイベントとして、全国都市緑化フェアの誘致を目指します。【任期中着手】
- 91 水前寺公園～江津湖～加勢川～川尻を結ぶ水辺のサイクリングロードや、江津湖を一周できる遊歩道、レイクサイドの休憩施設を整備します。健軍水源地やその他の豊かな湧水地の活用も推進します。【任期中着手】
- 92 市民が歩き、憩い、楽しめる白川・坪井川・加勢川などを再生するため、河川敷の整備を進めます。特に、京都の鴨川をモデルとして、白川沿いを散策できる街づくりを国と協力して推進します。【任期中着手】

③一度来た人が再び訪れたいと思う「洗練された熊本」を追求する観光戦略

- 93 熊本城内、城下町一帯、市電・バスなどの Wi-Fi スポットを拡大し、外国人も含めた観光客利便性向上を図ります。【任期中実現】
- 94 「宮本武蔵と五輪書」、「夏目漱石と草枕」、「ラフカディオ・ハーンと五校記念館」など、ストーリー性を持たせた観光ルートを設定し、観光客や旅行会社などにPRします。【任期中実現】
 - ※ その他のストーリー例：「加藤清正と本妙寺」、「横井小楠と四時軒」、「澤木興道と大慈寺」、「石光真清と城下の人」など
- 95 田原坂、塚原古墳群、千金甲古墳など、熊本市が誇る文化財の価値と魅力を全国に発信します。【任期中実現】
- 96 九州観光の拠点都市を目指して、熊本発の日帰りツアーの充実などを支援し、観光客の利便性を向上します。【任期中着手】

(4) 美しい環境を未来に残す取組

①熊本の誇る地下水資源の保護・涵養

- 97 家庭や事業所での節水対策を推進します。また、県や流域自治体と連携して、市域を超えた水源涵養対策や地下水汚染対策を推進します。【任期中着手】
- 98 下水道などの生活排水処理施設の普及を促進します。【任期中着手】

②環境保全活動の推進

- 99 東の託麻三山（神園山、小山山、戸島山）、西の金峰山、北の立田山、南の雁回山の環境を保全して、熊本市の「山のシンボル」として位置付けます。【任期中実現】
- 100 PM2.5 対策について、独自に予報を行っている福岡市の取組なども参考に充実強化します。【任期中実現】
- 101 「資源ごみを持ち去る業者」に対して、条例に基づく対策を強化します。【任期中実現】
- 102 街路樹の整備、壁面緑化、屋上緑化など、都市緑化を推進し、森の都の復活を目指します。【任期中着手】

Ⅲ. この政策を実現するために

(1) 市役所のマネジメント体制の強化

① トップマネジメントの強化

- 103 市長直轄の「市長政策局」を設置し、部局の縦割りを越えたトップマネジメントを確立します。【任期中実現】
- 104 東京事務所の機能を強化し、県選出国會議員や中央省庁等との連絡体制を密にします。【任期中実現】
- 105 職員とのコミュニケーションを重視して風通しのよい職場風土を築き、市役所内の情報伝達・情報共有をスムーズにします。「余計なことを言わない」ではなく、提案を奨励する風土をつくり「ひとり1改革運動」に取り組みます。【任期中実現】
- 106 市の総合計画を全面的に見直すとともに、市長任期と時期を合わせて8年計画（中間年で見直し）とします。【任期中実現】

② 女性の活躍推進

- 107 政令指定都市の中で女性管理職の割合が最低である現状を脱却するため、女性職員の積極的な採用・登用を図ります。【任期中実現】
- 108 男女がともに働き、子育てできる社会を市役所が率先して実現するため、男性職員の育児休業を促進します。また、女性職員の子育てと仕事の両立に関し、カウンセラーの配置などの支援体制を充実します。【任期中実現】

(2) 政令指定都市にふさわしい職員力の向上

- 109 職員が、政令指定都市に必要な職員力（政策企画力・実現力）を身につけるよう、研修の充実、国・他自治体との人事交流の拡大に取り組みます。【任期中実現】
- 110 幹部職員のマネジメント能力を向上し、県や国と議論しながら政策を実現できるだけの力量を育てます。【任期中実現】
- 111 職員の不祥事に対しては、懲戒指針の厳格化とともに、職員教育を徹底し、信頼される市役所にします。【任期中実現】
- 112 職員が地域行事などに積極的に参加し、地域に身近な存在になるよう努めます。【任期中実現】

(3) 多様なライフスタイルにあわせた行政サービスの質の向上（市役所に市民が合わせるのではなく、市民の多様性に市役所が合わせる行政）

① もっと便利な区役所の実現

- 113 市民からの問い合わせをたらい回しにしない、ワンストップサービスを徹底します。

【任期中実現】

- 114 市のホームページをわかりやすくして、必要な情報がすぐに見つかるようにします。また、申請手続などの電子化を推進し、自宅にいながら必要な手続きができるようにします。【任期中実現】
- 115 市民が市役所に行くのではなく、区役所の職員が市民の所に行くという理念のもとで、身近な場所（例えば、コミュニティセンターや地域の公民館など）で各種手続が可能になる「巡回区役所（仮称）」の導入を検討します。【任期中実現】
- 116 マイナンバー制度の導入に合わせ、郵便局・コンビニエンスストアにおける各種証明書の発行を可能にし、年中無休で住民票などの証明書が取れるようにします。【任期中実現】

②市民とのコラボレーション（地方分権から地域分権へ）

- 117 職員を地域に派遣して、自治会をはじめとした地域組織やボランティア団体と行政の連携を強化するとともに、地域情報をくみ上げて市の政策等に反映させる「地域支援コンシェルジュ（仮称）」を導入します。【任期中実現】
- 118 地域のまちづくり支援を充実するため、区役所の権限を強化します。【任期中実現】
- 119 ICTを活用し、市民との双方向の情報共有や市民の行政参画を拡大します。【任期中実現】
- 120 地域ボランティアの担い手（例えば、民生委員、児童委員、防犯協会、保護司など）の人材不足に対応するため、地域組織やボランティア団体とも連携しながら、地域人材育成と団体の支援を強化します。【任期中実現】

（４）県市連携の強化、県都として県全体を見渡した行政、特に熊本市と周辺市町村との境界を感じさせないまちづくり

- 121 熊本市がリーダーシップをとりながら、周辺市町村とのコラボレーションによって熊本都市圏の一体感を醸成します。【任期中実現】
- 122 県市連携の強化と役割分担の明確化の観点から、児童相談所など市立と県立の施設のあり方を再検討します。【任期中実現】
- 123 国の「まち・ひと・しごと創生本部」に対応する組織を設置し、国が策定する「総合戦略」、「長期ビジョン」を踏まえた、熊本版の地方創生戦略を策定します。また、地方中枢拠点都市圏構想の「地方中枢拠点都市宣言」を行い、近隣市町村と連携協約を結ぶことを目指します。【任期中実現】
- 124 他の政令指定都市、九州各都市、姉妹友好都市とのコラボレーションを強化します。【任期中実現】
 - 他の政令指定都市：大都市としての課題の共有・解決
 - 九州各都市：九州の一体的な発展に向けた連携強化
 - 姉妹友好都市：国際貢献・海外戦略の推進

(5) 行政改革の徹底的な推進（速く・ムダなく・いい仕事ができる体制づくり）

- 125 政令指定都市としての権限増加を考慮しながら組織体制を見直し、可能な限りの職員数の削減を図ります。【任期中実現】
- 126 市税や保険料などの滞納を解消するため、回収方法を見直すなど、債権管理を強化します。【任期中実現】
- 127 ICTを活用して、事務のペーパーレス化を推進し、行政コストを削減します。【任期中実現】
- 128 公共施設の駐車場の長時間利用や目的外利用などを防止し、市民にとって利用しやすい環境整備、及び維持管理財源確保のため、24時間自動化・有料化を含めたあり方見直しを実施します。【任期中実現】
- 129 区役所の権限強化と利便性向上が実現した後は、出張所の再編統合を検討し、行政資源（人、もの、財源）の選択と集中を行います。【任期中実現】
- 130 交通局のあり方（経営形態）を見直します。【任期中実現】

IV. 桜町再開発事業についての考え方

熊本市の将来ビジョンにとって大きな鍵となるのが、グランドデザインです。その中の一つに桜町再開発があります。私は、熊本市の中心市街地の活性化のためにも、今後交流人口を増加させるためにも、桜町地区の再開発事業は必要だと考えます。

熊本市のグランドデザインを考える時には、「点」ではなく「線」で考えることが大切です。すなわち、熊本駅から辛島町、新市街、下通、上通までの線を「動線」と捉えるのです。その動線の、まさに中核に位置するのが、桜町の再開発です。

近年、新市街、下通、上通の人通りは減少の一途をたどっており、この10年で約半分に減っています。JRによる熊本駅前の再開発を考えると、このまま何もしなければ、中心市街地のさらなる空洞化は避けられません。熊本駅前とあわせて桜町を再開発し、駅と有機的に結び付け、交通ターミナル機能のリニューアルによって、街の中心に人を呼び込む必要があります。

ハコモノ反対といって計画を白紙に戻すのは、一見すると聞こえはいいですが、未来へのビジョンを欠いた、非常に無責任な考え方です。私人としての意見は自由ですが、仮に行政のトップだとすると問題のある考え方です。現在の計画は、都市計画決定がされており、市議会も議決しているものです。これを市長の一存だけで白紙撤回するというのは、民主主義の原則にも反することになります。

ただし、現在のMICE施設計画には、施設規模、用途、維持費、建設資材の高騰によるコスト面など、いくつかの課題も指摘されています。現行計画を厳しく精査した上で、市民の皆さんにオープンな説明をし、多くの人々が納得の得られる施設を整備する必要があります。また、県民百貨店の従業員の雇用問題も忘れてはなりません。再就職支援、新規雇用について配慮するよう、再開発会社に求めていくことも必要です。

私は、市民の皆さんにより親しまれる施設にするためにも、また、開業後の稼働率を上げるためにも、国際学会やコンベンションはもとより、可能な限りコンサートやエンターテイメントにより比重を置いた多目的ホールを目指すべきだと考えています。

今、熊本市には2,000人規模のホールがありません。そのため、コンサートや演劇の九州ツアーが、福岡や鹿児島で開催されても、熊本を素通りしてしまっているのです。これは、熊本から文化が逃げていっている状況に他なりません。熊本を、文化が逃げる街から、文化を呼び込む街にしなければなりません。

桜町再開発事業については、「洗練された文化都市」熊本市を実現するために、責任ある決定をしていきたいと考えます。